

# 土の生命を咲かせて。

松橋町陶芸家

原構成

自然への愛情をこめて”

(作品に添えたメッセージより)

原さんは、今年の四月三日から五日まで、米国シカトルで開催された「第十二回サクラン祭りと日本文化祭」にメインゲストとして招かれました。この祭りは、日系人ら市民の実行委員が開催する米国内でも有名なサクラン祭りの一つで、毎年日本の伝統文化からテーマを選び、その代表的な作家と作品を紹介しています。今年のテーマは「陶」。原さんは、「地球贊歌」という百一匹のカニを配した作品を出展。百一という数は、「これかが、腰の入った作品づくりが出来る。」

原さんが松橋に窯を築いたのは、昭和四十七年のこと。松橋は奥さんの里でした。初めてこの地を訪れ、町の地形・景色を見たとき、何がある?とビーンと来たそうです。生まれ育った有田と共に通ずる独特的の感じ。辺りを歩き回つてみると果して焼いてみた土がひつそりと眠つていました。それもそのはず、江戸時代初期から明治にかけて、松橋では、「瓶屋」や「鉢屋町」という字名の地で、茶人や愛陶家に好まれた松橋焼が作られていました。

文献を調べた原さんが、「有田にはもういい土はない。ならばいそ良話をする原さん。原さんの夢は、きっと松橋のふるさと起こしにも、役買うことでしょう。」

竹籠を這い、大きなハサミをグッと持ち上げた川ガニ。指を刺さんばかりのイガをパックリはじけさせた栗。どちらも近所の林や川にころがっていたモチーフだと作者はこともなげに言われますが、本物にも増す強烈な存在感で己の生命を主張しています。作者原構成、五十四歳。

原さんは、「原点は土にある。土の持つ個性、持ち味を100%引き出そうとすれば、形や焼き方は自ずから決まつくるものだ」と言います。

それは炎の洗礼を受けた土の華

炎と土と人が陶を作る

と思いつ立った時から構成窯の歴史は始つたのです。

原さんの仕事場を訪れた人が、ま

ず目を見張るのは、並べられた作品

のバラエティの豊かさ。カニや栗の陶

彫の外に白磁や辰砂の壺、抹茶茶わ

ん女性をイメージしたオブジェ。とて

も一人の手になるものとは思えません。

「有田焼の伝統的技法が根底にある

のは確かです。でも私は、それに自

分の個性をプラスしたいと考えてい

ます。芸術でも文化でも、ただ伝統

を守つていくだけではいけない。文

作品を創らねば——。」

そんな熱い思いが、言葉や文化の壁

を乗り越え、人々の心を魅了したのでしょう。

原さんが松橋に窯を築いたのは、昭和四十七年のこと。松橋は奥さんの里でした。初めてこの地を訪れ、町の地形・景色を見たとき、何がある?とビーンと来たそうです。生まれ育った有田と共に通ずる独特的の感じ。辺りを歩き回つてみると果して焼いてみた土がひつそりと眠つていました。それもそのはず、江戸時代初期から明治にかけて、松橋では、「瓶屋」や「鉢屋町」という字名の地で、茶人や愛陶家に好まれた松橋焼が作られていました。

原さんの夢は、豊かな土に恵まれた松橋の風土を背景に、先達の遺業を少しでも継承し、さらに後世へと残るような新たな松橋焼のスタイルを築き上げることです。

今日も土に向かい、土の生命と対話をする原さん。原さんの夢は、きっと松橋のふるさと起こしにも、役買うことでしょう。



「蟹と籠」

古陶磁の鑑識家祖父岸雪と

陶芸家父鉄牛に師事する

昭和24年 九州・山口陶芸展にて佐賀県知事賞

昭和32年 ブラジル国へ渡航

昭和33年 作陶生活のかたわら陶芸指導を行う

● 日展、日本新工芸展ほか、入選・受賞多数

## 陶歴

昭和38年 婦国、有田陶窯を

設立

昭和47年 現在地に構成窯を

築窯

昭和59年 日中韓文化交流展招待出品

昭和60年 日中韓文化展ほか、入選・受賞多数

● 日展、日本新工芸展ほか、入選・受賞多数

昭和61年 入選・受賞多数

昭和62年 受賞

昭和63年 ブラジル国へ渡航

昭和64年 作陶生活のかたわら陶芸指導を行う

● 日展、日本新工芸展ほか、入選・受賞多数

昭和65年 入選・受賞多数

昭和66年 入選・受賞多数

昭和67年 入選・受賞多数

昭和68年 入選・受賞多数

昭和69年 入選・受賞多数

昭和70年 入選・受賞多数

昭和71年 入選・受賞多数

昭和72年 入選・受賞多数

昭和73年 入選・受賞多数

昭和74年 入選・受賞多数

昭和75年 入選・受賞多数

昭和76年 入選・受賞多数

昭和77年 入選・受賞多数

昭和78年 入選・受賞多数

昭和79年 入選・受賞多数

昭和80年 入選・受賞多数

昭和81年 入選・受賞多数

昭和82年 入選・受賞多数

昭和83年 入選・受賞多数

昭和84年 入選・受賞多数

昭和85年 入選・受賞多数

昭和86年 入選・受賞多数

昭和87年 入選・受賞多数

昭和88年 入選・受賞多数

昭和89年 入選・受賞多数

昭和90年 入選・受賞多数

昭和91年 入選・受賞多数

昭和92年 入選・受賞多数

昭和93年 入選・受賞多数

昭和94年 入選・受賞多数

昭和95年 入選・受賞多数

昭和96年 入選・受賞多数

昭和97年 入選・受賞多数

昭和98年 入選・受賞多数

昭和99年 入選・受賞多数

昭和100年 入選・受賞多数

昭和101年 入選・受賞多数

昭和102年 入選・受賞多数

昭和103年 入選・受賞多数

昭和104年 入選・受賞多数

昭和105年 入選・受賞多数

昭和106年 入選・受賞多数

昭和107年 入選・受賞多数

昭和108年 入選・受賞多数

昭和109年 入選・受賞多数

昭和110年 入選・受賞多数

昭和111年 入選・受賞多数

昭和112年 入選・受賞多数

昭和113年 入選・受賞多数

昭和114年 入選・受賞多数

昭和115年 入選・受賞多数

昭和116年 入選・受賞多数

昭和117年 入選・受賞多数

昭和118年 入選・受賞多数

昭和119年 入選・受賞多数

昭和120年 入選・受賞多数

昭和121年 入選・受賞多数

昭和122年 入選・受賞多数

昭和123年 入選・受賞多数

昭和124年 入選・受賞多数

昭和125年 入選・受賞多数

昭和126年 入選・受賞多数

昭和127年 入選・受賞多数

昭和128年 入選・受賞多数

昭和129年 入選・受賞多数

昭和130年 入選・受賞多数

昭和131年 入選・受賞多数

昭和132年 入選・受賞多数

昭和133年 入選・受賞多数

昭和134年 入選・受賞多数

昭和135年 入選・受賞多数

昭和136年 入選・受賞多数

昭和137年 入選・受賞多数

昭和138年 入選・受賞多数

昭和139年 入選・受賞多数

昭和140年 入選・受賞多数

昭和141年 入選・受賞多数

昭和142年 入選・受賞多数

昭和143年 入選・受賞多数

昭和144年 入選・受賞多数

昭和145年 入選・受賞多数

昭和146年 入選・受賞多数

昭和147年 入選・受賞多数

昭和148年 入選・受賞多数

昭和149年 入選・受賞多数

昭和150年 入選・受賞多数

昭和151年 入選・受賞多数

昭和152年 入選・受賞多数

昭和153年 入選・受賞多数

昭和154年 入選・受賞多数

昭和155年 入選・受賞多数

昭和156年 入選・受賞多数

昭和157年 入選・受賞多数

昭和158年 入選・受賞多数

昭和159年 入選・受賞多数

昭和160年 入選・受賞多数

昭和161年 入選・受賞多数

昭和162年 入選・受賞多数

昭和163年 入選・受賞多数

昭和164年 入選・受賞多数

昭和165年 入選・受賞多数